

Information

No.2024-37 Date 2024.9.

〈新規受託〉 研究検査

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

● MYD88/CD79B遺伝子変異解析

骨髓液 (依頼コード No.14027)

組織 (依頼コード No.14111)

FFPE (依頼コード No.14112)

受託開始日 2024年9月9日(月) ご依頼分より

本検査はジーンシリコンDNAチップを用いたPCR法により、MYD88遺伝子のL265P変異及びCD79B遺伝子のY196変異を検出します。

MYD88遺伝子はワルデンシュトレームマクログロブリン血症(WN)の原因遺伝子といわれ、MYD88遺伝子の変異を検出することは、形態学的検査だけでは診断がつかない場合の診断確定に有用と考えられます。

また、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)において、MYD88遺伝子及びCD79B遺伝子の両方に変異が認められたものはMCDタイプとされ、進行が早く予後不良であるため、治療薬の治験が進められています。本検査は、MCDタイプの病型分類及び予後予測に有用な検査です。

裏面に続きます

株式会社 第一岸本臨床検査センター

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎0570-085-212 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

検査項目名 及び 依頼（報告） コードNo.	14027(親)MYD88/CD79-M	14111(親)MYD88/CD79-T	14112(親)MYD88/CD79-F
	(子)23235 MYD88-M (子)23236 CD79B-M	(子)23340 MYD88-T (子)23341 CD79B-T	(子)23342 MYD88-F (子)23343 CD79B-F
検体必要量	骨髄液 0.5mL	組織 100mg	未染色スライド または パラフィン切片 5μm厚 5~10枚
容 器	O-97 (遺伝子診断検査 骨髄液用)	B-20	B-20
検体の保存方法	冷蔵(開封厳禁)	凍結	室温
所要日数	7~14		
検査方法	PCR法		
基準値	(-)		
単 位	なし		
報告範囲 (報告形式)	MYD88 : (-)、(+) CD79B : (-)、(+)		
検査実施料 / 判断料	未収載		

未染色スライドまたはパラフィン切片出検時の注意事項

- 本検査の実施にあたり、提出される検査材料には腫瘍細胞が30%以上含まれていることをご確認の上、ご提出ください。腫瘍細胞含有率が30%に満たない場合はマクロダイセクションの実施が必要となります。その際は、全ての未染スライドの裏面に油性マジックペンにて腫瘍部位を囲うようにマーキングをお願いいたします。
また、標本のサイズが小さい(生検組織など)検体は、予め多めに検体を出検していただくことで(20枚前後)検査に必要な核酸収量を確保できる可能性が上がりますので、ご検討いただくようお願いいたします。
- ホルマリン固定検体では、固定条件(ホルマリンの種類、固定時間)によって核酸の断片化が生じ、解析不能となる可能性があります。検体の取扱いに関しましては、各種ガイドラインなどを参照してください。
<推奨される固定条件>
・ホルマリン:10%中性緩衝ホルマリン
・固定時間:手術検体18~36時間、生検検体:4~24時間
<参考ガイドライン>
・ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程(日本病理学会)など

【検査方法の参考文献】

平山幸一, 他.: 東洋鋼鈹 Vol.38, 51-56, 2015.